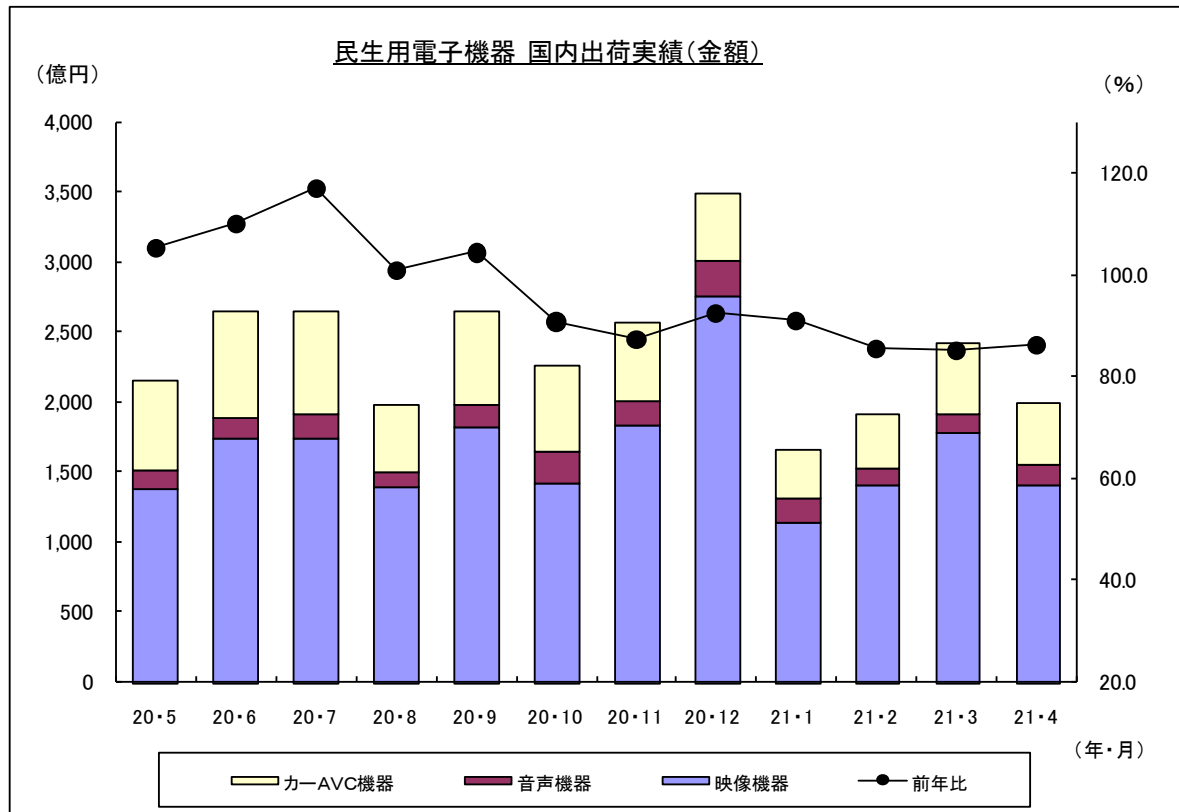


JEITA

全 体 の 動 向



単位：億円、下段斜体字は前年同月比（％）

	20・5	20・6	20・7	20・8	20・9	20・10	20・11	20・12	21・1	21・2	21・3	21・4
映像機器	1,385	1,745	1,739	1,401	1,821	1,425	1,834	2,751	1,147	1,405	1,777	1,410
	107.0	112.2	119.4	106.3	108.2	91.3	92.3	96.7	107.3	99.4	95.3	93.4
音声機器	138	146	179	109	167	223	172	262	175	128	146	165
	93.8	104.6	120.4	99.5	85.8	94.1	82.1	92.3	88.6	94.7	82.7	84.4
カーAVC 機器	633	757	728	470	659	611	567	475	346	387	494	447
	104.4	106.6	111.3	88.0	100.4	88.7	75.7	74.1	61.4	55.3	62.2	72.9
計	2,155	2,648	2,646	1,980	2,647	2,259	2,573	3,488	1,668	1,920	2,418	2,022
	105.3	110.1	117.1	100.9	104.5	90.8	87.4	92.5	91.1	85.4	85.2	87.2

赤字は事後修正値

4 月 の 概 況

民生用電子機器の4月出荷金額は2,022億円、前年比87.2%と6ヶ月連続のマイナスとなった。

分野別に見ると、映像機器国内出荷金額は、1,410億円、前年比93.4%と3ヶ月連続のマイナスとなった。

音声機器国内出荷金額は、148億円、前年比75.6%と9ヶ月連続のマイナスとなった。

カーAVC 機器国内出荷金額は、447億円、前年比72.9%と7ヶ月連続のマイナスとなった。

○ 4 月のカラーテレビ全体計(CRT+10 型以上液晶+PDP)は 824 千台、前年比は 119.6%となり、2 桁伸長を維持した。なお、4 月より、10 型以上液晶 TV と PDPTV とを統合して、薄型 TV(10 型以上液晶+PDP)とした。

○ 薄型 TV のサイズ別では、30～36 型が 250 千台、37 型以上が 274 千台である。

○ 4 月の DVD ビデオは、267 千台、前年比 71.6%と、13 ヶ月連続の前年割れとなった。その内訳は、DVD 録再機が 116 千台、同 62.2%、DVD 再生機が 150 千台、同 81.1%となっており、録再機が 13 ヶ月連続、再生機が 12 ヶ月連続の前年割れとなっている。

○ 次世代光ディスクレコーダ/プレーヤは 190 千台、前年比 235.2%と引き続き好調に推移している。DVD ビデオと次世代光ディスクを合わせた光ディスク市場の、数量で 42%を占めており、次世代光ディスクレコーダだけでも、その 4 割以上の規模となっている

○ ビデオ一体型カメラは 96 千台、前年比 94.0%と前年割れとなった。全体の 7 割を占めるハイビジョン対応機種は、4 月も前年を上回っており堅調であるが、ハイビジョン非対応機種は前年割れが続いており、その落ち込みをカバーできなかった。

○ ステレオセットは58千台、前年比65.5%と25ヶ月連続の前年割れとなった。

○ HiFiスピーカシステムは36千台、前年比90.6%と、29ヶ月振りにマイナスとなった。

○ カーオーディオは、カーステレオ本体(カセット)が、6 千台、前年比 21.1%、カーCD プレーヤが 246 千台、前年比 47.4%と大幅なマイナスであった。カーステレオとカーCD プレーヤの合計は 252 千台、前年比 45.9%であった。

○ カーカラーテレビは 25 千台、前年比 26.2%と 9 ヶ月連続のマイナスとなった。カーDVD は 11 千台、同 38.3%と 7 ヶ月連続の大幅なマイナスになっている。

○ カーナビゲーションシステムは 341 千台、前年比 97.3%と 7 ヶ月連続のマイナスであった。ソース別構成比は、CD/DVD-ROM タイプが 14.2%、HDD タイプ(その他)が 85.8%であった。

○ ETC 車載ユニットは 636 千台、前年比 189.3%と前月に引き続き大幅なプラスとなった。